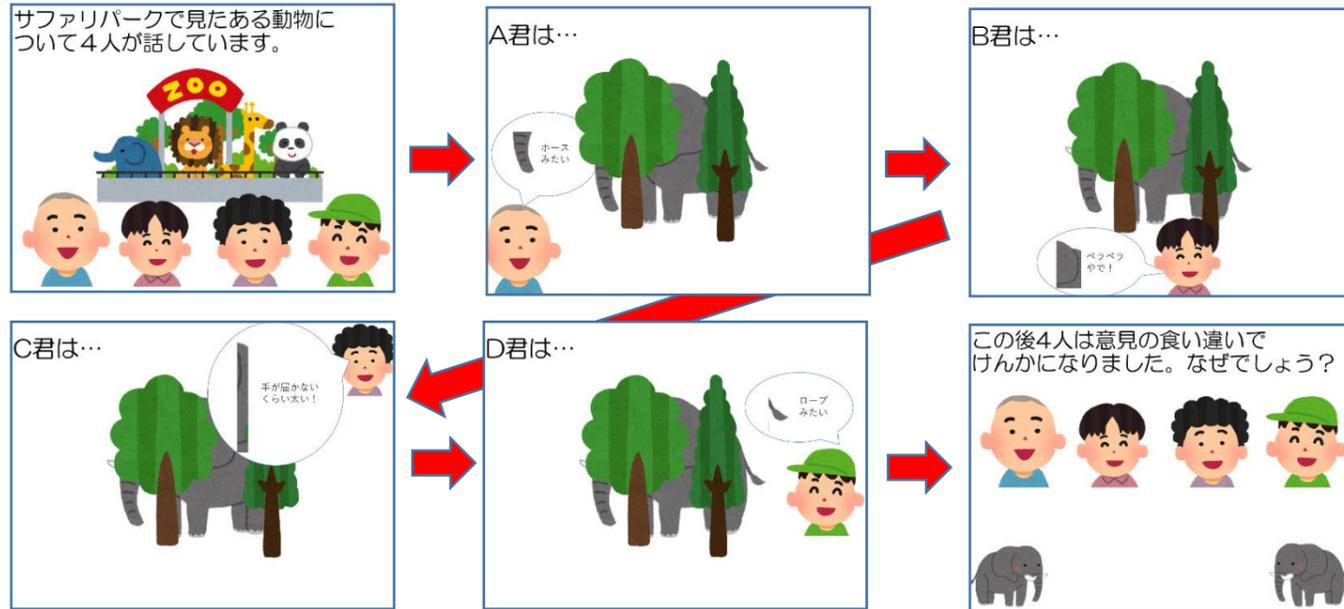


こんな時だから考えてほしいこと～SNSでのつながり～

臨時休校の延長が決まりました。4月に1週間登校したとはいえ、3月、4月、5月の3か月間休校することになります。家から出られないこの期間、『それでも友達とつながっていたい』という思いでSNSを使っている人も多いと思います。『先生心配しすぎ』って言われるかもしれませんが、ネットでのトラブル…起こっていませんか？

昨年、T先生の人間関係作りの授業の中でこんなことを聞いたのを覚えていますか？



みんな間違っただけとは言っていないんだよね～。
自分と相手は

- 見ている部分が違うこと
- 相手の目線に立つことが大事だゾウ。

さてSNS上でのやり取りではこのような食い違いや行き違いが起こりやすいといわれています。このやり取りを見てみましょう。

〇〇ちゃんの作ったぬいぐるみかわいくない

なんでそんなこと言うん?

え? インスタに上がってるのみたらおかしいし

頑張って作ったのにそんな言い方せんでもいいやん

え? 怒っとる?

怒らせたの△△ちゃんやろ

意味わからんし

もう話しかけんといて

絵にかいたような行き違いですね。

本当は左の△△ちゃんは右の〇〇ちゃんの作ったピンクの象のぬいぐるみを『ほめて』いるんです。最初に『かわいいね』、『象のおどけた姿が可笑しい』と言っていたら2人の関係が壊れることはなかったのではないのでしょうか？

SNS上での文字だけのやり取りでは言葉の行き違いが起こりやすいといわれています。中高生の人間関係トラブルのきっかけの2～3割がSNSであるとのデータもあります。

SNS上トラブルの原因

- 『見ている部分が違うこと』に気づきにくく、
- 『相手の目線』がどこに向いているかもわかりにくくなる。なぜなら
- 『直接相手の顔が見えない』から表情や言い方による相手の感情のヒントが得られにくくなるため。

SNSがきっかけの人間関係トラブルは大人の社会でも起こります。だから皆さんだけに『気をつけろ!』とは言っていない。先生たちも含めて、子どもも大人も気を付けて上手に使っていききたいね。

学校でのみんなの様子はとってもあたたかく笑顔も多い。でも生きているうちには人間関係トラブルはつきもの(できれば無いほうがいいけど)。

もしトラブルが起こってしまったら、そんな時こそ相手の気持ちを想像し、『絶対自分が正しい!』にならず、もしも自分の不注意かもと思ったら『素直にあやまる』ことも必要かな? 自分たちで解決する力も身につけていってほしいけど、どうしても解決できないこともあると思うからそんな時は大人に相談することも考えてね。

(御幸中学校 電話 43-2372)

あすおはじく
思いやりの気持ちを持つ